

「調査書」記載要領

下関国際高等学校

- 1 「第一志願」、「第二志願」、「第三志願」の欄には、志願する学科・コースを記入する。その際、推薦並びに一般（一次）受験の場合は、第二志願まで記入できる。なお、二次受験の場合は、第三志願まで記入する。ただし、特別推薦は第一志願のみでも可とする。
- 2 ※の「受験番号」の欄は、記入しない。
- 3 推薦入試（学校・特別・自己）に出願する者は、欄外左右上隅のそれぞれの志願の部分を赤色で塗りつぶす。一般（一次）入試に出願する場合は塗らない。
- 4 卒業年月の欄の過年度卒業者は卒業を選択する。
- 5 「学習の記録」の欄
 - (1) 「観点別学習状況」の「評価」の欄は、全学年について、中学校生徒指導要録（以下「指導要録」という。）の「記入上の注意」の基準によるA、Cのみを記号により記入する。Bは記入しない。なお、第3学年については、第1・2学期の成績の総合として記入する。
 - (2) 「評定」の「1年」、「2年」の欄は、指導要録から転記する。
 - (3) 「評定」の「3年」の欄は、第3学年の第1、2学期の成績をもとに5段階評定で記入する。
 - (4) 「5教科の評定合計（a）」の欄は、学年ごとに、国語、社会、数学、理科、外国語（英語）の各評定を合計したものを記入する。
 - (5) 「4教科の評定合計（b）」の欄は、学年ごとに、音楽、美術、保健体育、技術・家庭の各評定を合計したものを記入する。
 - (6) 「9教科の評定合計（（a）＋（b））」の欄は、学年ごとに「5教科の評定合計（a）」と「4教科の評定合計（b）」を合計したものを記入する。
 - (7) 「9教科の評定合計の3か年の合計」の欄は、各学年の9教科の評定合計を合計したものを記入する。
 - (8) 「総合的な学習の時間の記録」の欄は、この時間に行った学習活動について、その内容や状況等を簡潔に、枠内に収まる範囲で記入する。
 - (9) 過年度卒業者については、3年の欄は、指導要録から転記する。その他は卒業見込み生徒に準じて記入し、記載不能の場合は右上から左下にかけて斜線を引く。

- 6 「行動の記録」の欄は、第3学年における第1、2学期の行動の記録について、項目ごとに、指導要録の「記入上の注意」に準じて、○印を記入するか又は空欄とする。
- 7 「出欠の記録」の3年の欄は、第2学期末までのものを記入する。また、欠席日数、遅刻・早退回数各学年で10回以上ある場合は、必ずその理由を記入する。なお、理由の欄に記入できない場合は「総合所見及び参考となる諸事項」の欄に記入する。
- 8 「総合所見及び参考となる諸事項」の欄は、各教科の学習や行動面について総合的にみた場合の生徒の特徴や、指導上特に留意した事項を記入する。
3ヶ年の特別な活動における生徒の活動状況について、主な事実及び総合的にみた場合の所見を記入する。資格検定等を取得している場合は、その名称を記入する。
その他、次の事柄があれば記入する。
- (1) 帰国子女等については、帰国前の国名、在住期間（平成○年○月～平成○年○月）、帰国後の編入学年、日本語の理解度等、選抜に必要と思われる事項を記入する。
 - (2) 疾病等の状況について、特に必要であると思われる事項があれば記入する。
 - (3) その他、特筆すべき事項があれば記入する。
- 9 「5教科の3年間の評定平均値」の欄は、「5教科(国語、社会、数学、理科、英語)の3ヶ年の評定の合計」を15でわり算をし、小数第二位を四捨五入して、小数第一位までで示す。
- 10 記載事項の無い場合は、当該欄に右上から左下にかけて斜線を引く。
- 11 調査書のデータはホームページに載せる、記入方法は、パソコンでも、手書きでもかまわない。